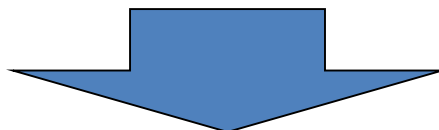


# 宿泊事業者の皆様へ

# 観光産業共通プラットフォームの ご案内

# 1. プラットフォーム構築にいたる経緯

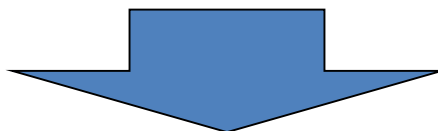
**コロナ禍で大きなダメージを受けた観光産業、  
とりわけ宿泊事業者と旅行会社の間で改善・  
解決できる課題はないか？**



**まずは双方で非効率になっている業務を一元化  
して生産性を向上させ、人手不足をはじめとした  
諸課題の解決の一助になる仕組みを作る**

## 2. プラットフォームの利用料について

今回のプラットフォーム構築は、国内旅行復活の  
要となる宿泊事業者の課題解決が最優先



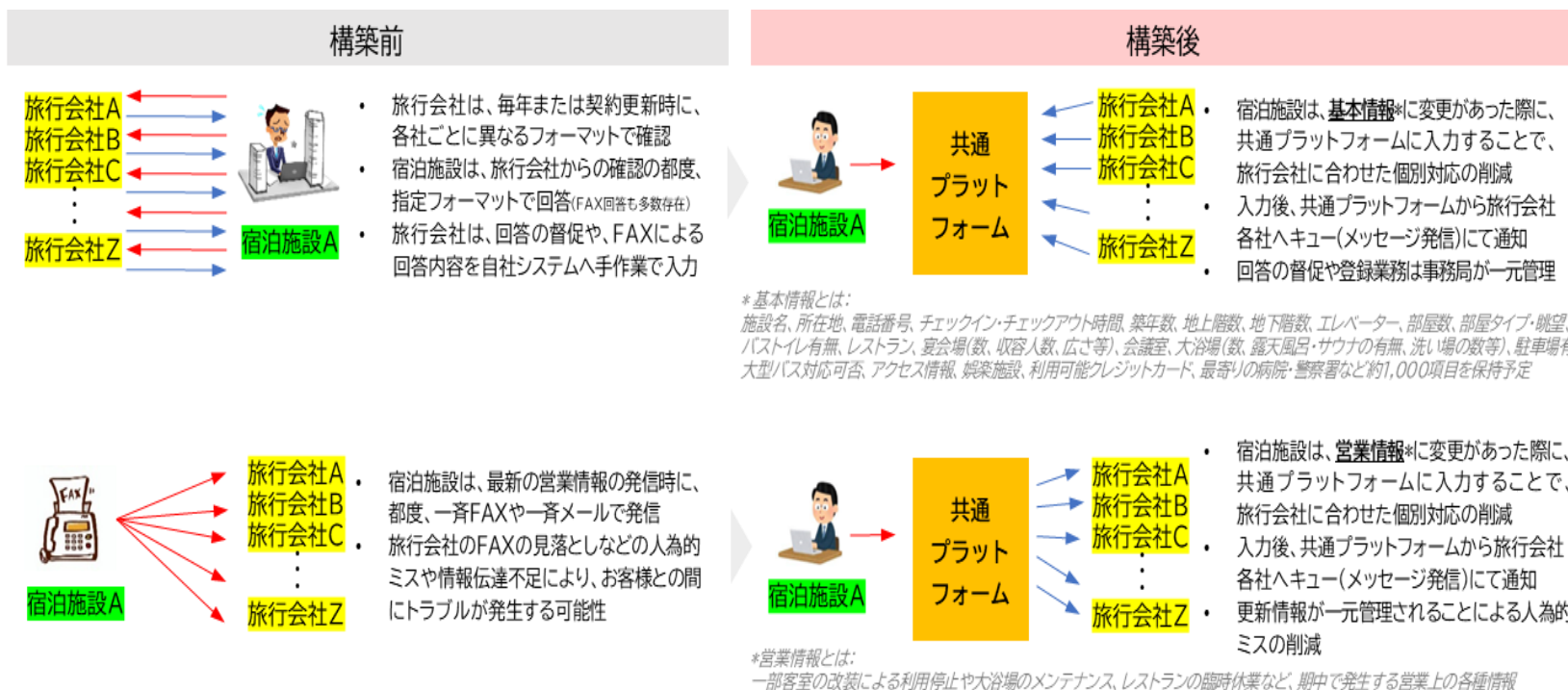
**宿泊事業者からは利用料はいただかない（無料）**

より多くの宿泊事業者の皆様にご参画いただけるよう、利用料を無料としました。  
宿泊事業者の皆様にご賛同いただきご参画いただくことが宿泊事業者、旅行会社  
双方の業務効率化を進め本プラットフォームの価値を高めることとなりますので、  
ご参画をよろしくお願いいたします

**※本プラットフォームは旅行会社各社からの利用料で運営いたします**

# 3. プラットフォームの機能について

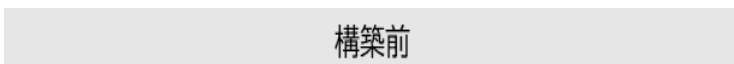
## <宿泊施設の基本情報、営業情報について>



# 3. プラットフォームの機能について

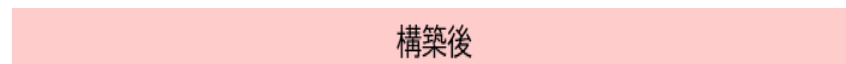
## <災害時の情報集約について>

③  
災害時における  
正確・迅速な  
情報集約



- 旅行会社A
  - 旅行会社B
  - 旅行会社C
  - ...
  - 旅行会社Z
- 宿泊施設A
  - 宿泊施設B
  - 宿泊施設C
  - ...
  - 宿泊施設Z
- ・ 災害時、旅行会社各社が該当エリアの宿泊施設に、電話による被害状況の確認や、送客したお客様の安否確認を実施
  - ・ 電話回線混雑による業務効率の低下
  - ・ 被災地は混乱しているにもかかわらず、緊急性のない問い合わせ\*が多数発生

\*緊急性のない問い合わせ(一例): 1か月先の団体は受け入れ可能か、道路はいつ復旧するのか等



- 旅行会社A
  - 旅行会社B
  - 旅行会社C
  - ...
  - 旅行会社Z
- 共通プラットフォーム
- 宿泊施設A
  - 宿泊施設B
  - 宿泊施設C
  - ...
  - 宿泊施設Z
- ・ 旅行会社各社は共通プラットフォームを確認し各宿泊施設の被害の有無を把握
  - ・ 宿泊施設は、PC又はスマートフォンに被災の有無を1度入力することにより、旅行会社各社からの同様の問い合わせの削減が可能

※実際に人的被害が出た場合は、共通プラットフォームだけでは対応できないため、従来通り宿泊施設と旅行会社各社で連携して対応

## ※オペレーション機能の設置

オペレーション  
機能

✓ また、上記①～③に関して、実効ある運用のため、JATA組織内に「観光産業共通プラットフォーム運営事務局(仮)」を設置し、下記の業務を実施する

災害発生時の該当エリア宿泊施設への情報登録依頼発報、  
登録確認、未登録者フォロー

宿泊施設への定期的な情報確認・登録依頼、  
登録情報管理、未登録者フォロー

システム操作方法支援、問い合わせ対応  
(DX化促進のためのボトムアップ)

## 4. 関係団体からのご賛同・ご協力

今回構築する観光産業共通プラットフォームには、下記の関係団体よりご賛同、ご協力をいただいております（2023年5月8日現在）

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会  
一般社団法人 日本旅館協会  
一般社団法人 日本ホテル協会  
一般社団法人 全日本ホテル連盟  
一般社団法人 全国旅行業協会

## 5. スケジュール

**宿泊事業者の皆様のご第一次申込締切： 2023年6月16日（金）**

**災害時情報集約機能のご担当者向け詳細説明： 6月下旬予定**

**全国一斉災害時情報集約訓練： 7月1日（土）予定**

**災害時情報集約機能本稼働： 7月下旬予定**

**基本情報・営業情報機能のご担当者向け詳細説明： 10月上旬予定**

**基本情報・営業情報機能本稼働： 10月下旬予定**

※宿泊事業者の皆様からのお申し込みは、第一次申込締切後も順次お申し込み  
いただくことが可能です

※ご担当者向け詳細説明や全国一斉訓練については、お申し込みいただいた  
宿泊事業者の皆様にご別途ご連絡いたします